

部

## &lt;活動内容&gt;

## 1. スムーズな競技会準備と競技運営

- ・他部署と多くのコミュニケーションをとり、適切な競技場所の決定、用器具の設置及び撤収を行い、円滑な競技進行を目指す。
  - 関係部署との連携を図ることができ、円滑な競技進行ができたと思う。
- ・投擲器具の持ち込みに関する規定が変更に対する体制づくりを構築する。
  - 学連の大会で、持ち込み検査の段取りが整っていないことが複数あった。主催者と事前に連絡を密にして、解消したい。
- ・トラック競技で器具を使用する競技は設置・撤収に時間がかかるので、タイムテーブル作成時に確認をし、円滑な競技運営ができるよう心掛ける。
  - 競技順序を考慮してもらったこともあり、大きなトラブルがなかった。
- ・WR k大会の状況を確認し、競技進行に支障のないようにする。
  - WR k大会も多くなり、準備や段取りもスムーズにできるようになった。
- ・主管する道路競走の競技会では、コース確認・備品の確認の徹底、他審判員への周知を図る。
  - 前年の反省を活かし、段取り良くできた。

## 2. 積極的な研修とルールの熟知

- ・次年度もルールの修正があることから、審判講習会などに積極的に参加し、また周囲に参加を呼びかけ、審判員全体の意思統一ができた上での競技運営ができるよう心掛ける。
  - 長距離記録会で、競歩審判員の講習会が行われた。審判部と連絡を密にとり、次年度以降も実施できるよう協力したい。

## 3. 県内各競技場の施設、用器具の管理徹底

- ・公認競技場やロードコースの管理者、公式計測員らと連絡を密にして、状況の確認・改善指導・問題点の解決に取り組む。非公認扱いの競技場とも、事故などが起きないように連絡を取り合う。
  - 競技場ガイドブックの情報が周知されていないため、競技運営に影響した事例があったので、情報を広める工夫をする。また更新されている競技場の情報を、早く公表できるよう、各競技場と連絡を取りたい。